

## 第4章 まとめと今後の課題

## 第4章 まとめと今後の課題

平成17年度から平成18年度にかけ、豊橋市の住民の方々（飽海町，東田町西脇二区，山田町，山田石塚町）と豊橋市防災対策課・都市計画課の方々の協力を得て、防災をテーマとしたワークショップ、大規模地震を想定した実践的な地域防災訓練を実施してきた。それらのワークショップや地域防災訓練では、本研究プロジェクトで開発される様々な情報共有技術の有効利用を図り、防災意識の向上と住民・自治体の協働体制づくりを進めつつ、情報共有技術の活用と地域住民・自治体の協働による新たな減災対応の仕組みの構築を目指した。平成18年11月12日（日）には、その仕組みを適用して東海・東南海連動地震を想定した地域防災訓練を実施し、情報共有技術の活用、さらに上記の方々の協働により、迅速かつ効率的な被害情報収集と減災対応が可能になることが実証された。

その一方で、実際の災害対応業務にあたる市防災対策課の方々へのアンケートならびにヒアリングから、平常時から災害時にかけてのシステム・機器類の連続利用、シミュレーション結果の精度の改良、情報端末の操作性や表示速度の改良、上記の仕組みの効果的な運用方法などの様々な課題も明らかになった。

我々の減災への取り組みはこれで終わったわけではなく、この2年間の貴重な経験・教訓を今後にいかし、実用化に重点をおいたさらなる研究開発と成果の普及に努めていきたい。

最後に、平成17年度から2年間にわたり、飽海町，東田町西脇二区，山田町，山田石塚町の皆様、豊橋市防災対策課ならびに都市計画課の方々には多大なご協力を頂きました。深く感謝申し上げます。また豊橋市での我々の活動に関わった全ての方々に心より感謝の意を表します。